

番傘川柳本社

6月投句句会

締め切り……令和7年5月15日
参加者……………98名
投句整理……………中岡千代美
名簿作成……………中岡千代美
清記……………柴田桂子

宿題 半分 山内悦次 選

半眼の仏にこころ見透かされ
兄弟で半分こする小さい手
パイヤの種が邪魔する半分こ
半分でいいのに来ない福の神
もう嫌いまだ好きなんだ痴話喧嘩
百年の半分君の傍にいろ
ラーメンを半分残しデカ走る
道半分露店が並ぶ市が立つ
ドクダミに庭の半分のとられ
半分こ覚えた孫のいい笑顔
ステージ4夢の半分奪い去る
等分に別れ話が揉めている
一升瓶半分空けて胃に懺悔
子育ての半分以上親の夢
プライドを捨てて割り勘する上司

西谷 公造
塩谷 邦子
鈴木かつえ
島田千代子
穴戸三喜恵
和泉富美子
廣田ひで子
みよしすみこ
青嶋由紀美
藤井 裕美
桑野まりこ
竹明なおみ
阿部 俊八
住田 昭水
藤田 勘芳

哀歓を半分こする老い二人
足して二で割った意見で丸め込む
折り返し帰りの道の早いこと
投票率五割だなんて悲しいね
半世紀玉座を妻は譲らない
表彰状半分はどは妻の分
半眼で覗く向かいのミニの脚
半分は脚色される回顧録
老いの食半分サイズありがたい
分け前の半分以上は闇のボス
いただきます割り箸うまく割れるよう
権利なら半分あると妻が言う
半分は自分に向けて子を叱る
半分こ姉妹ふたりが主張する
半分はあなたに命預けてる
叙勲だって半分以上妻のもの
父と母混せて割ったら僕になり

山田 順啓
碓氷 祥昭
水戸 二七
中村八十八
稲垣 義舟
細川 正章
福本 清美
若山 宗彦
角野たかし
戸田 清孝
村田 賢爾
久嶋 田甫
富川 章
北川 周興
武藤 伶子
安西 廣恭
藤井満洲夫

宿題 梅 雨 下林正夫 選

昭和の香半分閉まるシャッター街
戦場で喜怒哀楽を分かち合う
五分五分の可能性なら賭けてみる
半分は本気であんだ大嫌い
喜怒哀楽一人で分けて生きてきた
半券が鑑定団で羽が生え
半分は笑って増えた顔の皺
努力賞でした半分妻名義

谷口委佐子
志方 智外
田中きみ子
西川 東岳
南 高志
瀬戸 波紋
松岡登代子
山内 悦次

紫陽花にカタツムリ行く梅雨の空
荒梅雨に出水の不安里の川
雨の日も心は晴れる君となら
分水嶺彷徨っている水無月は
梅雨入りを待たず大雨注意報
梅雨前線が私を閉じ込める
梅雨明けてダムの水位が気に掛かる
梅雨晴れ間新緑を行く車椅子
いよいよ梅雨しっかり呼吸木曾五本
紫陽花巡りあなたと共に雨の中
ナメクジの気分味わう梅雨最中
列島に居座る前線蛇のよう
空梅雨は困る豪雨はなお困る
一つ傘梅雨が光って見えました
米作り梅雨の恵みが有難い

小林 祥司
廣田ひで子
高瀬 秀子
原 加代子
西谷 公造
若山 宗彦
みよしすみこ
池本 ゆき
柴本ばっは
和泉富美子
恵利 菊江
黒田るみ子
田中 堂太
藤井 裕美
南 高志

梅雨晴れへ憂さを丸ごと並べ干す
子離れへ梅雨寒の足耐えている

オノマトベ六月の雨しとしとと

足出して慌てて仕舞う寒い梅雨

梅雨晴れ間羽衣を乾す揚羽蝶

告白の愛が根づいた梅雨最中

鯉のぼり梅雨入り前のわが天下

長梅雨を受け容れ生きる糧にする

忘れてはいないあの日の女梅雨

拍手かと思えば梅雨の音しきり

梅雨しとど心静かに詩を読む

あっちこっち痛む今日から梅雨に入る

梅雨晴れ間洗濯物の一気干し

空梅雨を嘆いていますダムの底

カタツムリ紫陽花にだけ頭だす

梅雨が明け待ってましたと陽光が

梅雨は嫌こんなに虫が多くては

梅雨入りを待っているのか雨蛙

じめじめで数値が上がる湿度計

七変化降るか降らぬか梅雨最中

梅雨寒が追いつちかける気の緩み

梅雨空の青さに募う不信任感

六月は雨の匂いのカレンダー

日記帳傘のマークが続いてる

紫陽花人も嬉しい梅雨晴れ間

宿題 ほか 柴田 桂子 選

自在鉤ほのかに思い出す民話

秘仏開帳ほのかに春の気配して

タラの芽のほのかな苦み春愛でる

君の髪ほのかに香る風恋花

抱かれれば生命ほかに産湯湯気

抱きしめる緑児の香にしばし酔う

うるわしき長き旋律舞うボレロ

場所入りのびんつけ句うコンコース

エビせんがほのかに句う映画館

新茶の香ほのかに世間話聞く

搾りたて甘いほのかな旬に酔う

恋心知られたくない知らせたい

ちよいワルな君にほのかな恋心

思い出がほのかに残る絵の具皿

思春期の恋はほかに手が触れる

和簾笥のほのかな湿り母を恋う

淡雪のようなあなたが忘れられぬ

卯の花の香りほのかにはが浮く

焙煎の香りほのかに風に舞う

金婚の酒にほのかな酔いがくる

路地裏にほのかに残る昭和の灯

戦事下にはのかに咲いた恋だった

弔問の帰りほのかな香連れて

菌磨き後しばらく残る幸せ度
場の空気ほのかに悟り退座する

転職にほのかな期待抱いている

雑音もほのかになった右の耳

麻酔覚めほのかに聞こゆ君の声

日日介護ほのかな愛を今少し

峠越えほのかに光さすいのち

別れの朝ほのかな匂い置いていく

ほんのりとこの先の道見えてきた

命が泣く命が笑う生きている

薄れゆく愛のほのかのひと欠片

五感を澄ませそおとキャッチするほのか

すれ違う匂いはほのか人と人

敵か味方か仄かに笑う人がいる

一步引くゆとりを持つているほのか

謎少しのこして検索を止める

終章へほのかに紅を足しておく

宿題 迷う 大西 将文 選

迷ったら心の弾む方選ぶ

終着へもう迷うなと道の神

迷ったら尾根に登ろう里の山

迷うから真ん丸の丸描けない

迷いから覚めて鉢巻締め直す

あいまいな笑顔に心迷いだす

村田 賢爾

松岡登代子

住田 照水

植野 繁子

橘 和美

池本 ゆき

藤井満洲夫

戸田 清孝

北川 周興

楠山東石子

弘津 明子

豊田 佳子

志方 智外

廣田ひで子

佐藤 后子

竹明なおみ

栗原つや子

池本 ゆき

田中 葵

高橋 孝造

角野たかし

戸田 清孝

藤井 裕美

罪の色迷いに迷うリトマス紙
 迷つてる人に聞いてる僕の道
 季節外れに貼るのを迷う花切手
 迷つてゐる実は背中を押されたい
 生きている限りさまよう迷い道
 きみの灯台消えてわたしは難破船
 一冊の本が迷いを吹き飛ばす
 それほどの数もないのに迷う服
 今わの際迷うんやろなそうやろな
 助け船出すのは今か迷う母
 迷うのはおよし明日が来ないから
 ややこしい話が蜘蛛の巣にかかる
 迷つても犬がガイドをしてくれる
 じゃんけんでぐーかそれともチョキかパー
 百花繚乱色香に迷う蜂や蝶
 どの人と迷つたあなたまだひとり
 何を迷う自分で決めた道だろう
 鳥の目を持たぬ私の人生譜
 立ち止まる迷わないため句読点
 楽よりも好きを選んだ迷い道
 迷つたら母の手なる方へ行く
 吹っ切れた迷い真っ直ぐ線を引く
 棘のある言葉言い返すか迷う
 恋をして巨大迷路の中にいる
 包丁のリズムきっちり迷いなし

弘津 明子
 稲葉 岩明
 稲垣 義舟
 富川 章
 羽生 悦郎
 入江 晴菜
 伊藤 博信
 島田千代子
 植野 繁子
 細川 正章
 茶谷 好太
 竹明なおみ
 西澤 司郎
 塩谷 邦子
 蔵田 康子
 青嶋由紀美
 中谷 栄子
 志方 智外
 高瀬 秀子
 替地三枝子
 村上 哲子
 みよしすみこ
 村田 繁一
 黒田るみ子
 柴本ばっは

迷いなど無かった父の道標
 十字路に迷う私の自分色
 QRコードの先に迷い道
 一線を越えるか否か賽を振る
 発芽した色香に惑うキューピッド
 風船が空の広さに迷つてゐる
 能面の裏に私の迷う顔
 迷走の森に一条射す光
 人生に迷うトマトはまだ青い

宿題 秘密 阪本 高士 選

主治医から精密検査急かされる
 ここだけの秘密すぐにも知れわたる
 子の会話大人の秘密よく喋る
 縄のれん企業秘密がまた漏れる
 密着取材ゴシップ記事と暴露本
 病院のはしごで密な予定表
 共通の趣味からはまる親密さ
 作戦は密を守ってやるがよい
 大丈夫と思っていたのに骨密度
 執拗な密着取材受けて立つ
 密やかにあなたにかける甘い罠
 密談は甘くて辛くドロドロと
 満天の星に見られていた秘密
 密接な二人と聞いて距離を置く

田中五十鈴
 主税みずほ
 西川 東岳
 山田 順啓
 藤田 勘芳
 安西 廣恭
 常國 喜好
 西谷 公造
 小代千代子
 住田 照水
 細川 正章
 富川 章
 諸富 幹夫
 佐藤 后子
 藤井満洲夫
 富永 熙子
 南 高志
 橘 和美
 山口由利子
 弘津 明子
 鮎子田嘉子
 大島美智代
 横山 順子

暴かれた秘密の何とちっぽけな
 密やかなふたりの日は恙なく
 秘密裏に消してしまったシレッダー
 密談の相手まちがい蟻地獄
 ほんととする私だけの秘密基地
 エンディングノートに秘密書いておく
 ビー玉がまだ眠つてゐる秘密基地
 密集を逃れ人間取りもどす
 ツメツメにすぎやちよと間を置こう
 密やかに決断をした浮き沈み
 連弾のピアノに秘密忍ばせる
 ぎっしりの木の実栄養うばい合う
 密葬で済ませましたと知らせ来る
 蜂蜜を密かになめている夫婦
 隙間なし女ばかりの家族です
 玉ねぎの芯は秘密をもらさない
 それとなく秘密の話通夜の客
 神の死角で逢つてゐることは秘密です
 少年の瞳の奥の秘密基地
 声高な陰謀論にある秘密
 その秘密聞けば私も共犯者
 胸中に秘密のポケット持っている
 カーテンはあなたの秘密知っている
 共有の秘密が怖い不発弾
 ストレスが詰め放題の鬱の文字

能田 文夫
 青嶋由紀美
 香川 保子
 角野たかし
 香川 大
 みよしすみこ
 田中 堂太
 藤田 勘芳
 植野 繁子
 主税みずほ
 小林 祥司
 鈴木かつえ
 塩谷 邦子
 山岸 峰隆
 北川 周興
 茶谷 好太
 廣田ひで子
 黒田るみ子
 西谷 公造
 志方 智外
 替地三枝子
 水戸 二七
 安西 廣恭
 田中 葵
 高瀬 秀子

幸いは程よく密なスケジュール 山田 順啓

宿題 嬉しい 片岡 加代 選

母の日に家事一切は任せてね
嬉しそうにみなさらけ出す大あさり
食卓に日本海が跳ねる宴
他愛ない話と時間友と酒
エステ券妻が蝶ちよになっている
私だけ知っているのが嬉しいの
古伊万里を安く手にした日のワイン
急ぎ足母が待つる里帰り
支線からやっぱりなごむ国訛り
モノクロの世界に色が現れる
退院日我が家の匂い胸を刺す
退院日ノンアルならと医師の許可
嬉しいと素直に言えぬ男です
快挙です靴の小躍り止まらない
バーディーへだからゴルフは止められぬ
他人だが家族以上の思いやり
老いの坂子らの嬉しい思いやり
酒提げて笑顔の友がやって来る
待っていた嬉しい孫の初歩き
嬉しくて内緒に出来ぬ孫のこと
杖無しで歩けた今朝の散歩道
やっただよなんと嬉しい退院日
黒田 順み子
鈴木かつえ
茶谷 好太
村田 賢爾
福本 清美
楠山東石子
山田 順啓
塩谷 邦子
安西 廣恭
志方 智外
替地三枝子
谷口 良三
鮎子田嘉子
豊田 佳子
中村八十八
常國 喜好
佐藤 后子
藤井満洲夫
島田千代子
坂本 和子
碓水 祥昭
橘 和美

停戦のニュース世界を駆け巡り
母さんが一番キレイ参観日
断水の蛇口に水が戻り来る
一日を元気に過ごす茶碗二個
風呂上り嬉しい泡が待っている
まだ男熱い視線を浴びる幸
ささやかな嬉しさ月下美人咲く
本好きで読後感交わせる夫婦
イヤリング嬉しいはなし連れて来る
隠しても嬉しい顔は総崩れ
お世辞でもキレイワカイと褒められる
お互いの安否気づかう四季の文
うるさいが嬉しい限り妻元氣
食卓に刺身が並ぶ年金日
見つめるととってもうれしそうな花
カルパッチョドレッシングがあーうまい
春の香が連日届くお裾分け
久しぶり妻の優しい顔を見た
標準体重へ近づいているダイエット
懸賞の米10キロをゲットする
過疎と呼ぶ村に嬉しい呱呱の声
持つ人がちゃんとその場にくれる
心根の優しい子らが居てくれる
小林 祥司
栗原つや子
村上 哲子
武藤 伶子
西谷 公造
羽生 悦郎
毛利 元子
和泉富美子
山口由利子
南 高志
小林すみれ
弘津 明子
水戸 二七
西川 東岳
青嶋由紀美
植野 繁子
諸富 幹夫
北川 周興
土居 直子
住田 照水
細川 正章
若山 宗彦
田中五十鈴